

負内訌問題ニ付テ正副社長及專務ノ不信任ヲ叫ビ右  
 三者ニ引責辭任ヲ迫リテ止メ之ニ對シ社内後負身ハ而  
 方年册ニ努メテ反對ノ側者互ニ讓ラズ論争スル爲社長  
 ハ一時休態ヲ宣シ午後八時再會対議スル処アリタル元前  
 全様ニシテ妥懐ノ餘地ナキニ至リタル爲遂ニ石井副社長  
 及安田專務ハ予定ノ通り辭任ヲ申出サタル爲茲ニ漸ク  
 討論終結直ニ其任ノ還着ヲ以テ石井副社長ハ

以上ノ状況ニシテ結局後負側ノ主張通り石井安田ノ兩  
 社ハ辭任トナリタル元其後任タル里川副社長ハ従来海  
 負側ニ担担ニ居タル干係上(陸負出身者ナク)後任者トシテ満足スル能ハ  
 カル模様ナル元此際後ニテ予テ計画(本社負總務)ヲ実行スルノ意  
 圖ナク右改選ニ依テ先格着スル情勢ニ在リ

日本郵船會社  
 日本郵船會社  
 日本郵船會社

一 爭議ノ原因

遠因  
 全國海員コ一先ト此種橫斷的勞働團體(日本海  
 員組合)總合員ヲ擁シ其他ニ元商船同志會日  
 萬七千ノ組合員ヲ擁シ其他ニ元商船同志會日  
 本司厨聯盟(海員統)協會等、救團體アリ  
 郵船會社新ニ爲總斷的勞働團體ニ郵船屬  
 員協會アリ郵船會社所屬船員七千餘名ヲ  
 以テ組織セラルタル元日本海員組合其他ノ勞  
 働團體ニ屬員協會ヲ自ニ宗御用團體ナリト  
 攻撃シ且、機會ヲ利用シテ自己組合ニ引込メ  
 ト潛ニ計画シ居タリ(海員組合員ニテ屬員協會員  
 ナルモノアリ)  
 從來日本郵船會社、執リテ、海員組合五國  
 トシテ橫暴ノ點アリク下級船員、如キハ、常ニ甚シク差

12/1/1913  
 日本郵船會社  
 日本郵船會社  
 日本郵船會社

郵船會社

X